

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 インヴァスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7338 URL https://www.inv.inc/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 猛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大村 祐一郎 TEL 03-6858-7105
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,278	—	3,181	—	98	—	42	—	21	—
2020年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 71百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	3.71	—
2020年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	108,723	10,702	9.8
2020年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 10,684百万円 2020年3月期 —百万円

(注) 当社は、2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び第2四半期までの実績はありません。配当は、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%(年率)のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っていません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	5,876,331株	2020年3月期	-株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	-株	2020年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,876,331株	2020年3月期3Q	-株

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は利益の配分について、安定的な配当の継続を前提としつつ、業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針とし、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行ってまいります。

配当は、連結配当性向30%または連結純資産配当率（DOE）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

（その他特記事項）

1. 当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となったインヴァスト証券株式会社の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しています。
2. 当四半期連結会計期間（2020年10月1日から2020年12月31日まで）は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第3四半期連結会計期間」として記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年10月1日に単独株式移転によりインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については、インヴァスト証券株式会社の2020年3月期第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)と、また、前連結会計年度末と比較を行っている項目については、インヴァスト証券株式会社の2020年3月期連結会計年度末(2020年3月31日)と比較しております。

また、当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となったインヴァスト証券株式会社の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年度末に新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込んだ生産や輸出が持ち直していることや、金融・財政面からの支援などにより、緩やかながらも回復基調が継続しています。ただ、小売売上高が11月に再度前月比で減少に転じる等、足元の個人消費は低迷しており、新型コロナウイルスの世界的拡大に伴う国際渡航制限により、インバウンド需要も期待できないことから、今後の景気回復に対しては不透明感が強まっています。

外国為替市場のドル円相場は、昨年度末に101円台から111円台の大きなレンジで動いた後は、110円を上値抵抗として徐々に軟化する展開となりました。米国のFRBが率先して金融緩和に動いたことや、潤沢なドル供給を実施したことでドルが全面安となり、100-105円のレンジへと水準を切り下げました。

株式市場は、コロナウィルス感染拡大で下押す局面は散見されたものの、主要国の金融緩和や財政出動を受けて資金の受け皿となり、特に新しい生活様式で注目を集める情報通信関連株を中心に、積極的な買いを集める結果となりました。米国大統領選挙等のイベントを消化した後も、好材料に反応する相場状況は続き、米国の主要3指数は史上最高値圏まで上昇し、日経平均株価も約30年ぶりの高値に上昇しました。

このような経済状況のもとで、国内金融事業においては、経営資源をコア事業の強化や新規事業への投資に集中させることができる体制整備として、取引所FX「くりっく株365」の吸収分割による事業譲渡や、店頭FX「FX24」のサービス終了(「トライオートFX」に事業統合)を行いました。また、店頭FX「シストレ24」についても、2021年3月11日(予定)をもってサービスを終了することを決定いたしました。

同時に、注力サービスである「トライオートFX/ETF」のリニューアルを実施し、これにあわせた各種キャンペーンの実施や、自動売買セレクトの機能追加を行う等、マーケティング活動を強化いたしました。

しかしながら、当初、夏頃にリリースを予定していた新サービス「マイメイト」について、より一層の品質向上、機能改善を図るため、リリースを延期していることから、同サービスの収益化が先延ばしとなっております。

一方で、海外金融事業(オーストラリアの子会社Invast Financial Services Pty Ltd.)は、DMACFD取引が増加基調となったことや、MT5の新規取引顧客の増加等が収益寄与いたしました。

こうして、当社グループの当第3四半期連結累計期間の営業収益は、32億78百万円(前年同四半期比94.1%)、純営業収益は31億81百万円(同97.7%)となりました。

販売費・一般管理費は全体で30億82百万円(同97.8%)、純営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は98百万円(同94.9%)、経常利益は42百万円(同28.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円(同21.4%)となりました。

なお、2020年12月末の連結預り証拠金残高は、792億15百万円(2020年3月末比111.1%)となりました。

セグメントの業績概況は次のとおりであります。

① 国内金融事業

国内金融事業は、当社及び国内連結子会社です。当社は純粋持株会社であり、子会社インヴァスト証券株式会社は、取引所FX、店頭FX/CFD事業を行っております。

また、子会社インヴァストキャピタルマネジメント株式会社は、貸金業(不動産業者向けファイナンス、中小企業向け事業資金ファイナンス等)を行っております。

国内金融事業の純営業収益は22億38百万円(前年同四半期比108.8%)となり、セグメント利益は4百万円(同3.6%)となりました。

② 海外金融事業

海外金融事業は、当社の海外連結子会社（Invast Financial Services Pty Ltd.）が店頭FX／CFD取引及び証券取引サービスを行っております。

同社の決算日は12月31日となっているため、当第3四半期連結累計期間においては、2020年1月から9月までの実績を反映しております。

海外金融事業の純営業収益9億73百万円（前年同四半期比79.5%）となり、セグメント利益は93百万円（前年同四半期は26百万円のセグメント損失）となりました。

主要な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

① 受入手数料

当第3四半期連結累計期間の受入手数料の合計は5億97百万円（前年同四半期比138.3%）となりました。内訳は以下のとおりであります。

・取引所為替証拠金取引に係る受入手数料	1億86百万円（同103.9%）
・委託手数料	12百万円（同84.6%）
・投資顧問料	3百万円（同43.9%）
・その他の受入手数料	3億94百万円（同172.3%）

② トレーディング損益

当第3四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、22億47百万円（前年同四半期比90.7%）となりました。これは店頭FX取引等によるものであります。

③ 金融収支

当第3四半期連結累計期間における金融収支は、24百万円（前年同四半期比18.2%）となりました。主な発生要因は預金利息によるものであります。

④ 販売費・一般管理費

当第3四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、30億82百万円（前年同四半期比97.8%）となりました。主な内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	7億97百万円（同127.0%）
・人件費	10億9百万円（同102.2%）
・不動産関係費	9億4百万円（同97.5%）
・事務費	25百万円（同85.8%）
・減価償却費	1億55百万円（同109.5%）
・租税公課	1億23百万円（同126.1%）
・その他	67百万円（同83.7%）

⑤ 営業外収益

当第3四半期連結累計期間においては2百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・貸倒引当金戻入額	1百万円
・未払配当金除斥益	0百万円
・その他	0百万円

⑥ 営業外費用

当第3四半期連結累計期間においては58百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・匿名組合投資損失	33百万円
・事業撤退損	9百万円
・その他	15百万円

⑦ 特別利益

当第3四半期連結累計期間においては0百万円の特別利益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	0百万円
・新株予約権戻入益	0百万円

（2）財政状態に関する説明

（資 産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して8億20百万円増加し1,087億23百万円となりました。流動資産は、4億65百万円増加し1,071億69百万円となりました。

流動資産の主な増加項目は、預託金の増加78億12百万円と短期差入保証金の増加26億31百万円であり、一方、主な減少項目は、外為取引未収入金の減少72億98百万円と現金・預金の減少21億円であります。

また、固定資産は前連結会計年度末と比較して3億54百万円増加し、15億54百万円となりました。

（負 債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は980億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ、9億67百万円増加しました。流動負債は、9億72百万円増加し979億67百万円となりました。

流動負債の主な増加項目は、受入保証金の増加79億23百万円であり、主な減少項目は、短期借入金の減少41億円と外為取引未払金の減少27億62百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し45百万円となりました。

特別法上の準備金は、7百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は107億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億47百万円減少しました。主な減少要因は配当金の支払いによる2億17百万円であります。

この結果、自己資本比率は9.8%（前連結会計年度末は10.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

また、2021年3月期における新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は、現時点において認識しておりませんが、影響が認められた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金・預金	6,564
預託金	28,269
顧客分別金信託	5,900
顧客区分管理信託	22,063
その他の預託金	305
短期差入保証金	52,321
外為取引未収入金	18,688
短期貸付金	898
その他	431
貸倒引当金	△3
流動資産計	107,169
固定資産	
有形固定資産	162
無形固定資産	434
投資その他の資産	957
投資有価証券	117
破産更生債権等	134
出資金	445
繰延税金資産	22
その他	237
貸倒引当金	△0
固定資産計	1,554
資産合計	108,723
負債の部	
流動負債	
受入保証金	79,215
外為取引未払金	18,213
未払法人税等	29
賞与引当金	25
役員賞与引当金	29
その他	453
流動負債計	97,967
固定負債	
繰延税金負債	26
その他	19
固定負債計	45
特別法上の準備金	
金融商品取引責任準備金	7
特別法上の準備金計	7
負債合計	98,021

(単位:百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	500
資本剰余金	10,135
利益剰余金	△6
株主資本合計	10,629
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	177
為替換算調整勘定	△122
その他の包括利益累計額合計	55
新株予約権	4
非支配株主持分	13
純資産合計	10,702
負債・純資産合計	108,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	
営業収益	
受入手数料	597
トレーディング損益	2,247
金融収益	121
その他の営業収益	313
営業収益計	3,278
金融費用	96
純営業収益	3,181
販売費・一般管理費	
取引関係費	797
人件費	1,009
不動産関係費	904
事務費	25
減価償却費	155
租税公課	123
その他	67
販売費・一般管理費計	3,082
営業利益	98
営業外収益	
貸倒引当金戻入額	1
未払配当金除斥益	0
その他	0
営業外収益計	2
営業外費用	
匿名組合投資損失	33
事業撤退損	9
その他	15
営業外費用計	58
経常利益	42
特別利益	
金融商品取引責任準備金戻入	0
新株予約権戻入益	0
特別利益計	0
税金等調整前四半期純利益	43
法人税、住民税及び事業税	30
法人税等調整額	△8
法人税等合計	21
四半期純利益	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	21

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2020年4月1日
至 2020年12月31日)

四半期純利益	21
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	59
為替換算調整勘定	△9
その他の包括利益合計	49
四半期包括利益	71
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは外国為替証拠金取引事業を主たる業務としており、お客様にはオンライン上での取引環境を提供する非対面型のビジネスモデルとなっております。

海外金融事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大による海外への渡航自粛・制限、国内における外出自粛により、対面営業の制約等による影響が見込まれますが、その代替としてテレビ会議システム等のツールを利用したオンライン営業を行っていること等から、当社グループの事業活動全体として大きな影響はございません。

当社グループの繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにおいては、新型コロナウイルス感染症による現時点における重要な影響はないと仮定し、見積りを行っております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益	2,238	973	3,211	△29	3,181
セグメント利益	4	93	98	0	98

(注) 1. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△29百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額0百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。